

# 阿寒国立公園指定80周年記念フレーム切手解説書

## 阿寒国立公園の歴史

阿寒・摩周・屈斜路湖の3大景勝地は、昭和初期から観光地として脚光を浴び始めた。昭和9年(1934年)には12月4日に「阿寒国立公園」の指定を受けた。なお、大雪山(北海道)、日光(関東)、阿蘇(九州)等も同日指定を受けている。平成26年11月現在、全国に31の国立公園が指定されている。

### マリモが眠る湖 阿寒湖

阿寒国立公園を代表する湖で、湖畔の温泉街には大型のホテルが並び、一帯の観光の拠点になっているほか特別天然記念物のマリモはあまりに有名である。阿寒カルデラ初期には大きな「古阿寒湖」があったが、およそ1万年前、雄阿寒岳の噴火活動により現在の阿寒湖とパンクトー・ベンクトーに分断された。

### 日本最大のカルデラ湖 屈斜路湖

屈斜路湖は国内6位の面積を持つ巨大なカルデラ湖である。今から3万年前、この地に大噴火が起こった。その後は噴火して荒地となり、樹木が生え、また噴火の繰り返しだったという。そして、7〜8千年前、現在の屈斜路湖の輪郭がほぼできかかり原生林が生い茂ったが、突如大地が陥没。そのカルデラに水がたくわえられ湖となった。

### 神秘的湖 摩周湖

多くの人を魅了し続けている摩周湖。その最大の魅力は「霧」である。霧は暖流と寒流がぶつかる釧路の海上で誕生する。そして暖かい空気を求めて内陸へと流れ込み、釧路湿原から根根原野を渡って、摩周の湖面上にたどり着く。霧が絶え間なく入り込み、瞬く間に湖全体を霧で包み込んでしまう。

### 特別天然記念物 ① マリモ

マリモはアイヌ語で「トー・ラサンベ(湖の御霊の意)」とよばれていたが、鮮やかな緑色、ピロードのような質感、そして見事に整った球形の姿は、神秘的と表現されるほど特異で美しい。

大正10年(1921年)に天然記念物に、さらに昭和27年(1952年)には特別天然記念物の指定を受け、永い期間に渡って保護されてきた。

今回使用しました写真は、阿寒湖フォトコンテスト「弟子屈フォトコンテスト」の入選作品です。(マリモを除く)

弟子屈フォトコンテスト 第3回 最優秀賞 「月光」 (佐藤 正)		阿寒湖フォトコンテスト 第5回 1席 「トンコリの恵音」 (中村 泰健)	
弟子屈フォトコンテスト 第5回 優秀賞 「霧沸きあがる」 (中野 澄子)		阿寒湖 フォトコンテスト 第3回 佳作 「神秘的森」 (鹿又 孝恵)	阿寒湖 フォトコンテスト 第2回 佳作 「晩秋の湖」 (北原 明寛)
阿寒湖 フォトコンテスト 第2回 佳作 「朝燃え」 (新免 亮)	弟子屈 フォトコンテスト 第1回 入選 「荒地に咲く花」 (福岡貞実美)	マリモ NPO法人 阿寒観光協会 まちづくり推 進機構 提供	阿寒湖 フォトコンテスト 第3回 佳作 「氷上カマクラ オブジェ」 (河村 美昭)
弟子屈 フォトコンテスト 第1回 特別賞 「氷鏡桜」 (宇野 浩史)	阿寒湖 フォトコンテスト 第2回 佳作 「夏鏡」 (佐藤 圭子)	阿寒湖フォトコンテスト 第3回 1席 「噴煙もゆる」 (佐藤 正)	

(入選者敬称略)

### 特別天然記念物 ② タンチョウ

古くから伝わる民話の中にも登場するタンチョウは、江戸時代まで各地でその姿を見ることが出来ました。明治に入り個体数が減少し、まったく姿が見られなくなりました。大正13年、十数羽のタンチョウが釧路湿原に確認されて以来、地元の方々の努力によって保護活動が進められ、昭和27年、国の特別天然記念物に指定されました。

### 阿寒横断道路

国道241号線中、全長36.2kmに及ぶ阿寒横断道路。昭和3年(1928年)に着工した阿寒横断道路の開削工事は大変な難工事でしたが、当時の釧路土木出張所長の永山在兼氏(鹿児島県東市来村(現日置市)出身)の尽力により、昭和5年(1930年)に見事完成させました。阿寒横断道路の完成を受け昭和9年(1934年)には、阿寒国立公園に指定されるなど、道東観光発展の基礎を築く上で永山氏が果たした功績はとて多大きなものでした。